

令和6年能登半島地震 への災害医療対応

DMAT事務局
次長 近藤久禎



災害医療支援とは



私は、飾り石のような華やかな人間となるより
裏石のように目立たずとも人々を支える人間に
なることを望みます
赤十字救護看護婦・竹田ハツメさん

本災害の本質

- 甚大な被害のある地域の孤立により
 - 要医療者(外傷、透析等)の医療アクセス困難
 - 病院・社会福祉施設・避難所の環境(水・食料・暖房)改善遅延
 - 支援者環境確保困難、支援の制限
- 高齢化率の高い地域の被災により
 - 防ぎえる死亡だけでなく悲劇の低減が課題
 - 復興の目標設定の困難

目的

病院・社会福祉施設・避難所の

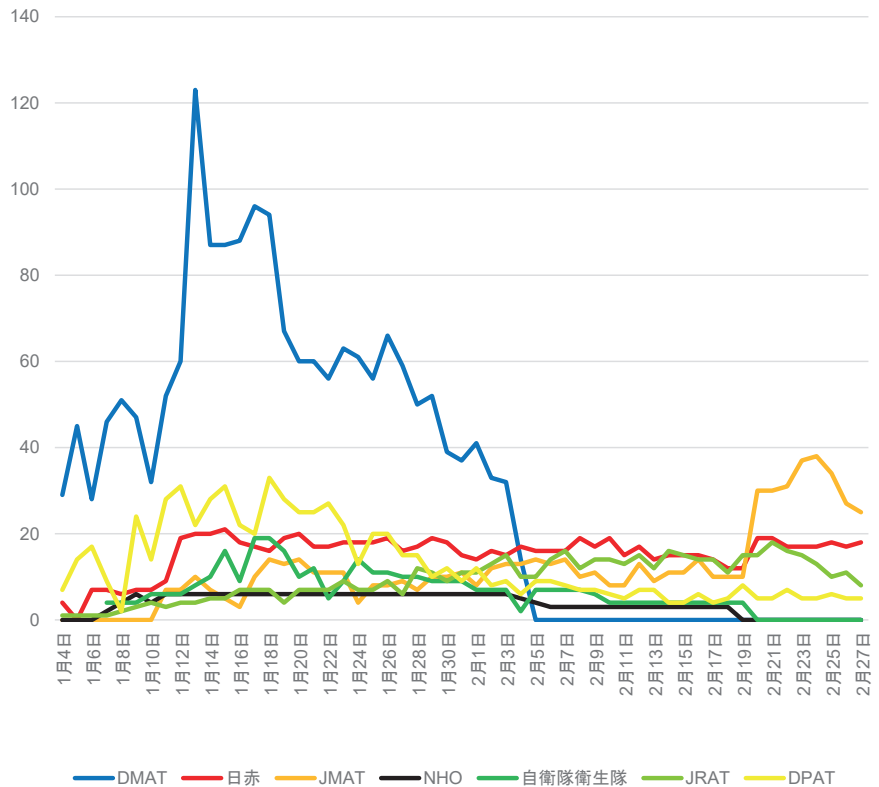
- I. 患者・入所者・住民の医療提供継続・医療アクセス確保
 - 要緊急医療者の初期診療、搬送
- II. 最低限環境確保と緊急避難搬送
 - 飲料水、食料、暖房環境確保と生活に耐ええない方の広域避難搬送
- III. 継続可能な保健医療福祉体制の確立
 - 能登、石川中部・南部の病院・施設・診療所機能維持支援
- IV. 地域の保健医療福祉体制の復旧

⇒防ぎえる災害による死亡、悲劇の低減

保健医療福祉支援チーム

- DMAT 1139チーム
- JMAT 682チーム
- 日赤 441チーム
- NHO 72チーム
- DPAT 184チーム
- JRAT 529チーム
- JDAT 193チーム
- 看護師(看護協会等) 6166名
- 薬剤師 3925名
- DHEAT 34チーム
- 自衛隊衛生隊
- NGOs(PWJ、TRAT、AMDA、HuMA)
- 保健師
- JDA-DAT、管理栄養士
- DWAT(全社協、老施協等)

令和6年2月28日現在



I 要緊急医療者の初期診療、搬送

空路・陸路でアクセス不可能な避難所



消防救出事案

	2日	3日	4日	5日	6日	7日
出動件数	3	12	19	12	10	19
生存救出者	0	2	1	0	1	0
死亡救出者	3	10	18	12	9	4

透析患者搬送

	1月2日	1月3日	1月4日	計
能登町		30	0	30
輪島市		30	19	49
珠洲市	1	0	42	43
穴水市		10	13	23
合計	1	70	74	145

搬送手段	陸路	空路
搬送者数	102	43

空路搬送患者

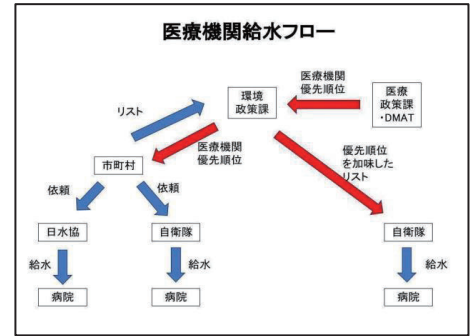
搬送元	年齢	性別	傷病名
病院	69	女	下腿開放骨折、ショック
病院	48	男	頭部・顔面外傷
避難所	71	女	右手小指下腿開放骨折
病院	11	男	クラッシュ
病院		男	骨盤開放骨折
病院	68	女	右上肢骨折、クラッシュ
病院	56	女	右下腿骨折、クラッシュ、腹腔内出血
病院	10	女	骨盤骨折
避難所	90	女	クラッシュ、酸素低下
避難所	47	女	クラッシュ、下腿骨折
病院	20	男	骨盤骨折
病院	76	女	左肩骨折、左血胸、クラッシュ
病院	44	女	腎部打撲
病院	92	女	右下腿開放骨折
1/2 病院	76	女	右下腿開放骨折
病院	42	男	右気胸、酸素低下、クラッシュ
病院	61	男	脳脊髄液

搬送元	年齢	性別	傷病名
病院	48	女	血胸 圧迫骨折 下肢脱力
病院	82	男	下肢クラッシュ
病院	57	男	脱臼骨折(左股関節)
病院	49	男	クラッシュ(17時間挟まれ) 右下肢腫脹(++) 腎不全
1/3 病院	71	女	左大腿骨骨幹部骨折
病院	55	女	左大腿骨骨幹部骨折
病院	64	男	頭蓋骨開放骨折 右脳出血(DNARだったが復活してきた)
避難所	68	女	ショックバイタル 現在回復
自衛隊	80	男	骨盤骨折疑い 歩行可 付き添い1人
病院	84	男	クラッシュ疑い 乏尿
避難所	68	M	衰弱、ショック
病院	84	M	重症熱傷30% 左下肢中心に広範囲
病院	82	M	クラッシュ症候群
病院	58	M	LK 酸素3L投与
1/4 病院	61	F	右大腿骨骨折 クラッシュ DM
病院	79	M	クラッシュ疑い
病院	49	F	大腿骨骨幹部骨折(手術適応)
自衛隊	79	M	クラッシュ
病院	89	F	クラッシュ、K4.8

1月7日全ての被災者にアクセス
緊急用医療者がいないことを確認

Ⅱ 被災地内最低限環境整備：病院

- 電気：1月2日復電確認
- 酸素：1月3日問題なし確認
- 灯油：1月4日輪島、5日珠洲、6日5病院補給済
- 食料：1月4日12病院へ補給開始
- 水：1月3日12病院断水、
1月9日病院最低限使用量確認済、
補給調整方法確立済



**1月6日
最低限環境確保
1月9日
最低限水確保**

病院	受水槽	容量	平日使用	休日使用	最低必要	EMIS		給水状況								
						緊急	詳細	1月2日	1月3日	1月4日	1月5日	1月6日	1月7日	1月8日	1月9日	
七尾市病院A	2.25	1.2	1.2	1.2	1	要支援	2日以上	×	×	×	×	4t	2t以下	×		
七尾市病院B	99	220	220	220	15	要支援	1日	15t	15t	15t	15t	5t	15t	15t		
七尾市病院C	230	300	300	300	50	要支援	1日	○	○	○	断った	×	(要望) 50t	55t		
七尾市病院D	65	60	60	60	35	要支援	井戸	5t	5t	×	×	30t	35t	10t	35t	
七尾市病院E	20	55	55	55	10	要支援	1日			10t	10t	×	10t	10t	10t	
輪島市病院	140	130	130	90	30	要支援	枯渇			×	1t	×	2t	10t	1.2t	
珠洲市病院	270	80	80	43	10	要支援	1日			×	○	40t	40t	40t	25t	
穴水町病院	30	65	65	55	3	要支援	枯渇			○	○	20t	20t	20t	10t	
能登町病院A	90	52	52	30	30	要支援	枯渇			×	×	0.3t	断った	×	0.9t	×
能登町病院B	24	0.37	0.37	0.37	0.4	要支援	枯渇			×	0.8t	×	1t	断った (4t)	×	

Ⅱ 被災地内最低限環境整備：高齢者施設

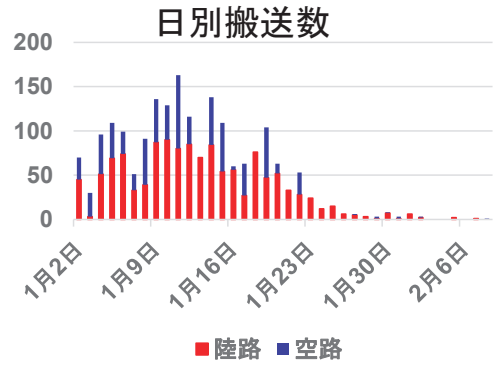
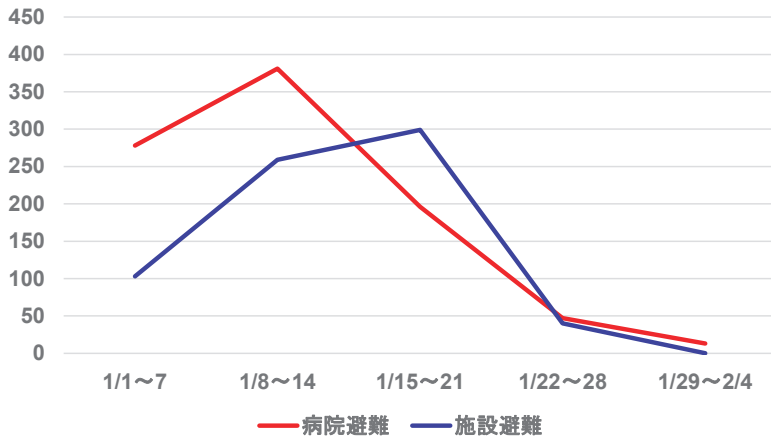
	1月4日	1月5日	1月6日	1月7日	1月8日
電話不通	26	5	0	1	0
建物被害	50	47	74	78	78
停電	20	18	20	18	18
断水	69	72	96	104	105
暖房使用不可	未	未	16	14	18
飲料水不足	未	未	20	20	26
食事不足	未	未	17	18	22

**1月11日
最低限環境確保
手配終了**

	1月4日		1月5日		1月6日		1月7日		1月8日		1月9日		1月10日		1月11日	
	需要	発注	需要	発注	需要	発注	需要	発注	需要	発注	需要	発注	需要	発注	需要	発注
電気	20施設	未	18施設	未	18施設	未	18施設	未	18施設	未	18施設	未	0施設	不要	0施設	不要
暖房	2施設	未	2施設	未	3施設	未	14施設	14施設	14施設	14施設	24施設	24施設	24施設	24施設	24施設	24施設 (発送済)
灯油	2施設	未	2施設	1施設	7施設	1施設	14施設	14施設	14施設	2給油拠点	24施設	2給油拠点	24施設	3給油拠点	24施設	4給油拠点
飲料水	未	未	未	未	35施設	未	20施設	20施設	20施設	20施設	20施設	定例化済み	20施設	定例化済み	20施設	定例化済み
食料	未	未	未	未	32施設	未	18施設	18施設	18施設	18施設	18施設	定例化済み	18施設	定例化済み	18施設	定例化済み

寒冷環境8施設

病院・施設避難 現環境に耐ええない方の広域避難搬送



1月18日
避難搬送完了

以降は、病院・施設機能維持のための搬送

	1/1~7	1/8~14	1/15~21	1/22~28	1/29~2/4	合計
病院避難	278	381	196	47	13	915
施設避難	103	259	299	40	0	701
合計	381	640	495	87	13	1616

要介護高齢者受け入れ枠の増加要請通知

事務連絡
令和6年1月9日

各 介護保険施設管理者 様
(金沢市以南の施設)

石川県健康福祉部長寿社会課

令和6年能登半島地震にかかる能登地域の
要介護高齢者の受け入れの詳細について

日頃より本県の高齢者福祉の推進にご協力を賜り、誠にありがとうございます。
令和6年1月9日付け長第3423号で通知した能登地域の被災施設入所者の受け入れにつきまして、下記のとおり運用をお願いいたします。
なお、今回の震災は非常に大規模であり、現時点で既に多くの入所者の衰弱が始まっている非常事態であるとの認識を持っていただき、平時の対応ではなく、柔軟な対応を強くお願いいたします。

記

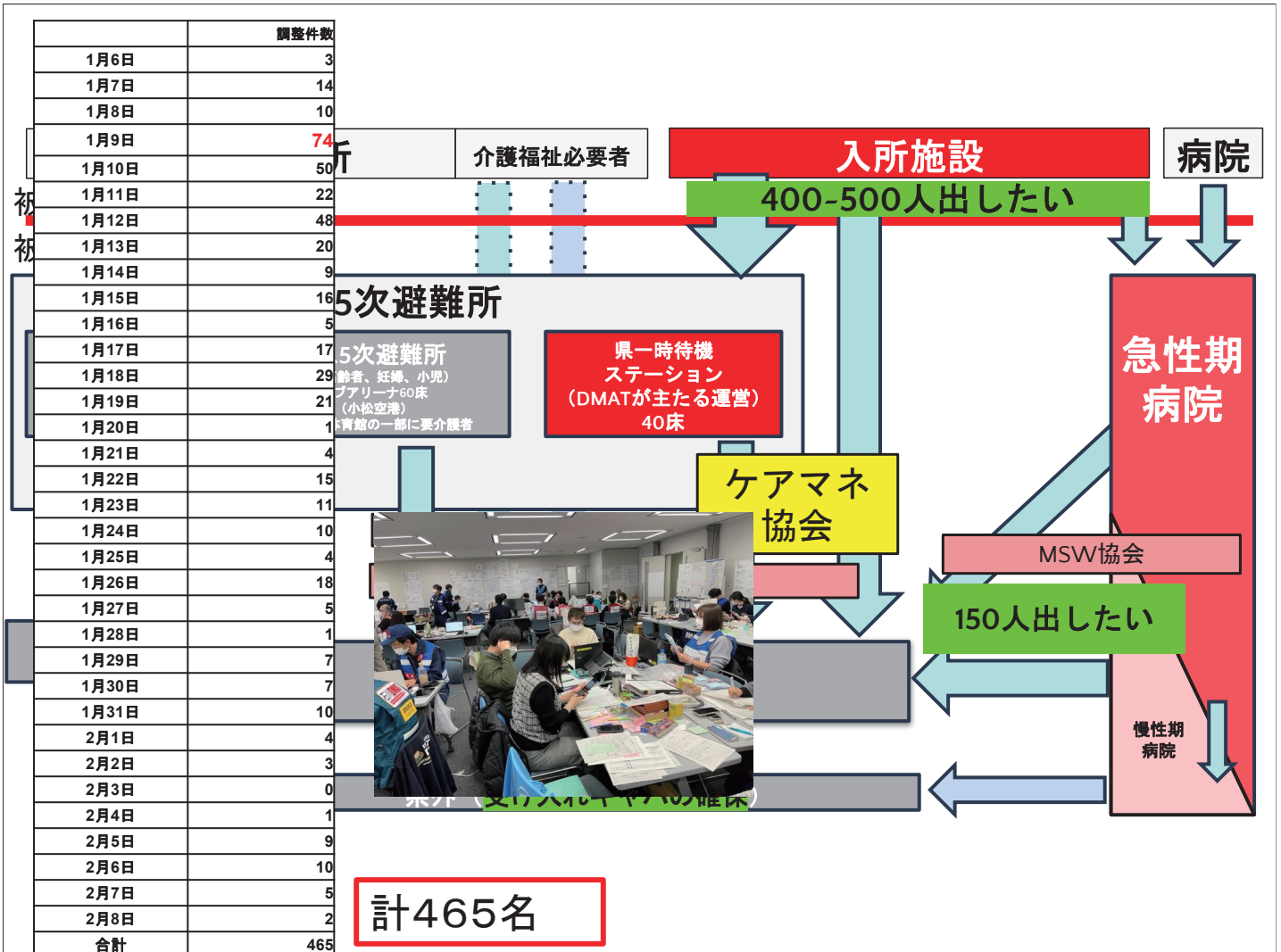
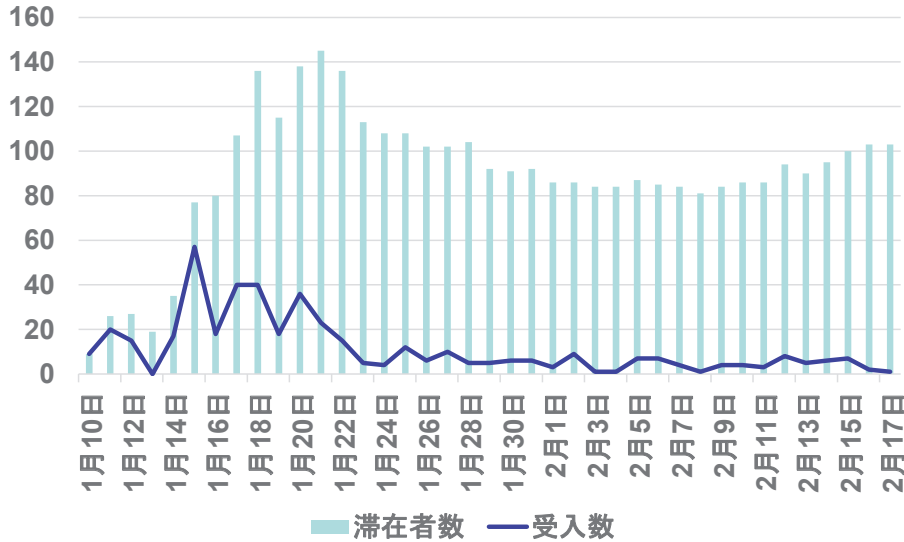
1 全体像
別添スキーム図のとおり。
※1月9日現在、1.5次避難所（いしかわ総合スポーツセンター）への被災施設入所者の受け入れはまだ始まっておりませんので、DMATの調整の下、県（ケアマネ協会）から直接依頼する場合があります。

2 受け入れ枠について
各施設の定員の5%相当（小数点以下切り上げ）を被災施設入所者の受け入れ枠として、各施設に受け入れを要請したものです。
この受け入れ枠は、定員超過として扱っていただき、通常の定員とは別で運用することを想定しています（受け入れ前に定員に余裕があった場合、この受け入れ後も定員まで被災者以外の方の受け入れが可能）。
サービス提供体制に支障がない場合、この受け入れ枠を超えて被災施設入所者を受け入れていただくことも可能です。

- ・各施設の定員の5%相当の受け入れを要請
- ・受け入れ枠は通常の定員とは別枠で運用
- ・受け入れ枠を超えて被災施設入所者を受け入れることも可能

いっとき待機ステーションの設置・運営

施設避難患者の一時受け入れ
DMAT3~18チーム（含む搬送班）/日で運用



目的

病院・社会福祉施設・避難所の

I. 患者・入所者・住民の医療提供継続・医療アクセス確保

1月7日完了

- 要緊急医療者の初期診療、搬送

II. 最低限環境確保と緊急避難搬送

1月18日完了

- 飲料水、食料、暖房環境確保と生活に耐ええない方の広域避難搬送

III. 継続可能な保健医療福祉体制の確立

- 能登、石川中部・南部の病院・施設・診療所機能維持支援

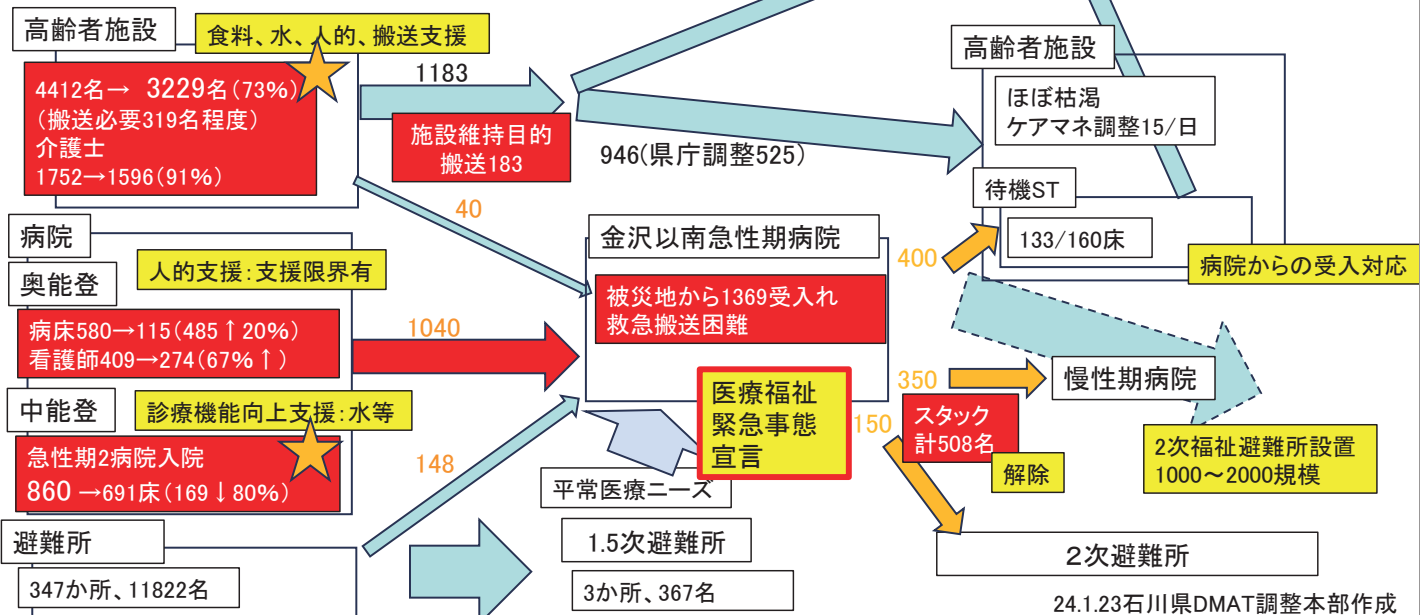
IV. 地域の保健医療福祉体制の復旧・復興

⇒防ぎえる災害による死亡、悲劇の低減、地域社会の存続・復旧

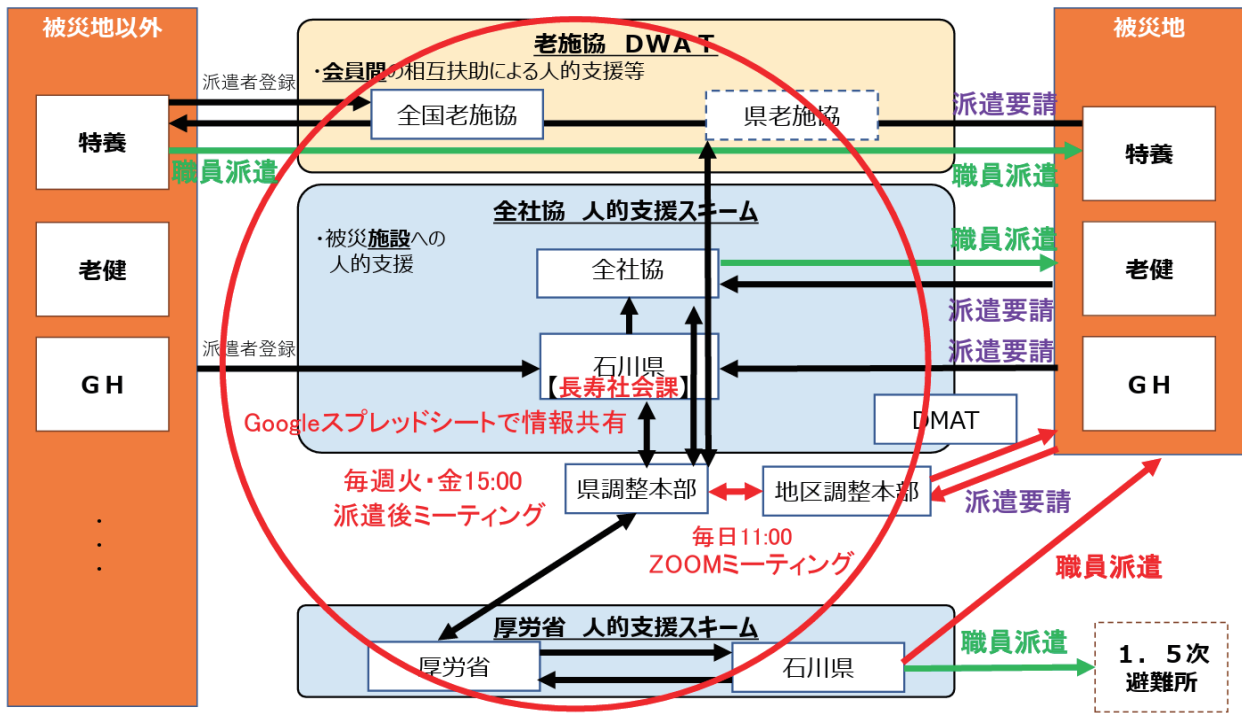
能登地震医療福祉機関の現状と対策

- ・ 高齢者率の高い(50%以上)地域の被災
- ・ 病院機能の著しい低下
- ・ 被災地環境整備困難による支援者投入の限界
- ・ 高齢者の遠隔搬送は幸せを保証するの

状況の把握と関係者共有



高齢者施設への人的支援



介護士マッチング状況

派遣が0 足りない 足りている

2024/2/12 17:30

派遣先	足りない	足りている	施設での募集	特記事項	2/12	2/13	2/14
輪島	希望			ボランティアが人員が足りなくなったため、2/17の派遣でいったん終了したいとTELあり。18日以降の派遣については中止	6	6	6
	派遣計				0	3	3
	派遣 (全社協)				0	0	0
	派遣 (老施協)	未確認			0	3	3
	希望			2/5 11時ミーティングにて2/5時点より+2 (=2名) ほしい。本日より6~2に調整	5	5	5
	派遣計				6	6	6
穴水	希望			2/7AMミーティングにて現状維持で充足の事で2/9-介護士は2-5で要求有り	2	2	2
	派遣計				4	4	4
	派遣 (全社協)				2	2	2
	派遣 (老施協)	未確認			0	0	0
	希望			2/23まで、2/24以降のニーズ確認	1	1	1
	派遣計				1	1	1
七尾	希望			2/6 介護士1名募集にする代わりに支援員を1名ほしい	0	0	0
	派遣計				2	2	2
	派遣 (全社協)				3	3	4
	派遣 (老施協)	未確認			0	0	0
	希望			2/6 ボランティアの継続があれば現状の入数(2名)で何とか足りそう。運営確認が必要(連絡)	2	2	2
	派遣計				2	2	2
石川県	希望			2/8全社協: 2/18以降の応援不要	0	0	0
	派遣計				0	0	0
	派遣 (全社協)				0	0	0
	派遣 (老施協)	未確認			0	0	0
	希望				2	2	2
	派遣計				2	2	2

派遣先	施設での募集	特記事項	2/12	2/13	2/14
輪島	希望	2/6~10/3、暫1、2/13~17/3、2/18~22、23~27継続派遣予定	6	6	6
	派遣計		1	4	4
	派遣 (全社協)		1	0	0
	派遣 (老施協)		0	4	4
	希望	ハロワーク、ホームページで常勤職員を募集中	2	2	2
	派遣計		2	2	2
	派遣 (全社協)	2/5~船着福祉事務補助ボランティアセンターから2名予定。2月末までは充足。2月下旬から削減(2月3日確認済)	0	0	0
	派遣 (老施協)	老施協: 2/26で派遣予定	1	1	1
	希望	2/7AMミーティング: 1/23日のボランティアが抜けるとの事でネットが2/11まで以降1名希望	0	0	0
	派遣計		0	0	0
	派遣 (全社協)	2/7AMミーティング: 1/23日のボランティアが抜けるとの事でネットが2/11まで以降1名希望	0	0	0
	派遣 (老施協)	"土日のみ希望" 2/25まで調整済	0	0	0
七尾	希望	2/3確認 随時、複数名、期間問わず募集	0	0	0
	派遣計		1	1	1
	派遣 (全社協)		0	0	0
	派遣 (老施協)		0	0	0
	希望	2/6~1名派遣	3	3	3
	派遣計		3	3	3
	派遣 (全社協)		0	0	0
	派遣 (老施協)		0	0	0
	希望	2/29まで3名調整済み	0	0	0
	派遣計		0	0	0
	派遣 (全社協)		0	0	0
	派遣 (老施協)		0	0	0
穴水	希望	2/4確認。派遣終了	0	0	0
	派遣計		0	0	0
	派遣 (全社協)		0	0	0
	派遣 (老施協)		0	0	0
	希望	2/9で派遣終了。2/10~派遣不要(排水解消にて)→2/18以降、介護士2名希望	0	0	0
	派遣計		0	0	0

日付	2/12	2/13	2/14
必要数	24	24	24
派遣数	22	28	29
不足数	2	-4	-5

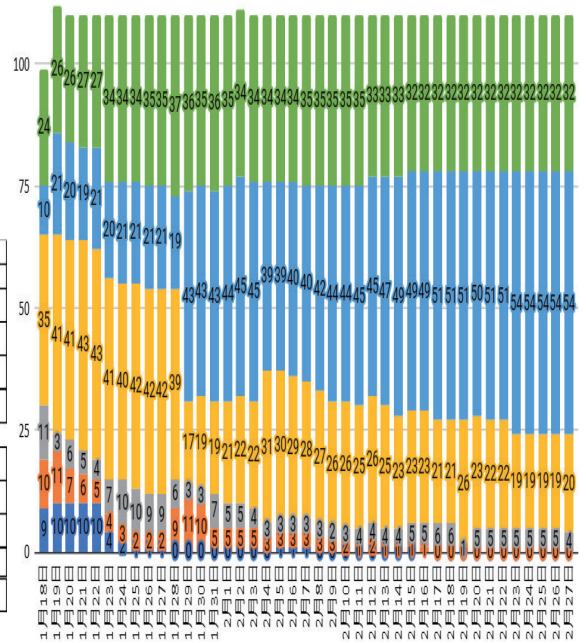
高齢者施設の評価・状況

施設の評価

- ★要全入所者搬送 ☆重点支援(連日訪問)
- 要支援調整(連日電話or隔日訪問)
- △要フォロー □支援終了 ー避難済

	能登北部					能登中部					能登全体	
	珠洲市	輪島市	穴水町	能登町	小計	七尾市	志賀町	中能登町	小計			
★					0					0		
☆					0					0		
○		4	245		4					0	4	245
小計	0	0	4	245	0	0	0	0	0	0	4	245
△	1	9	2	55	6	331	4	266	13	661	5	210
□			2	38	3	77	7	127	12	242	23	979
ー	7		13		3		3		26	0	4	
小計	8	9	17	93	12	408	14	393	51	903	32	1189
合計	8	9	21	338	12	408	14	393	55	1148	32	1189

	小計	七尾市	志賀町	中能登町	小計	能登全体
△	13	661	5	210	2	43
□	12	242	23	979	14	433
ー	26	0	4		1	1
小計	51	903	32	1189	17	476
合計	55	1920	6	255	55	1920

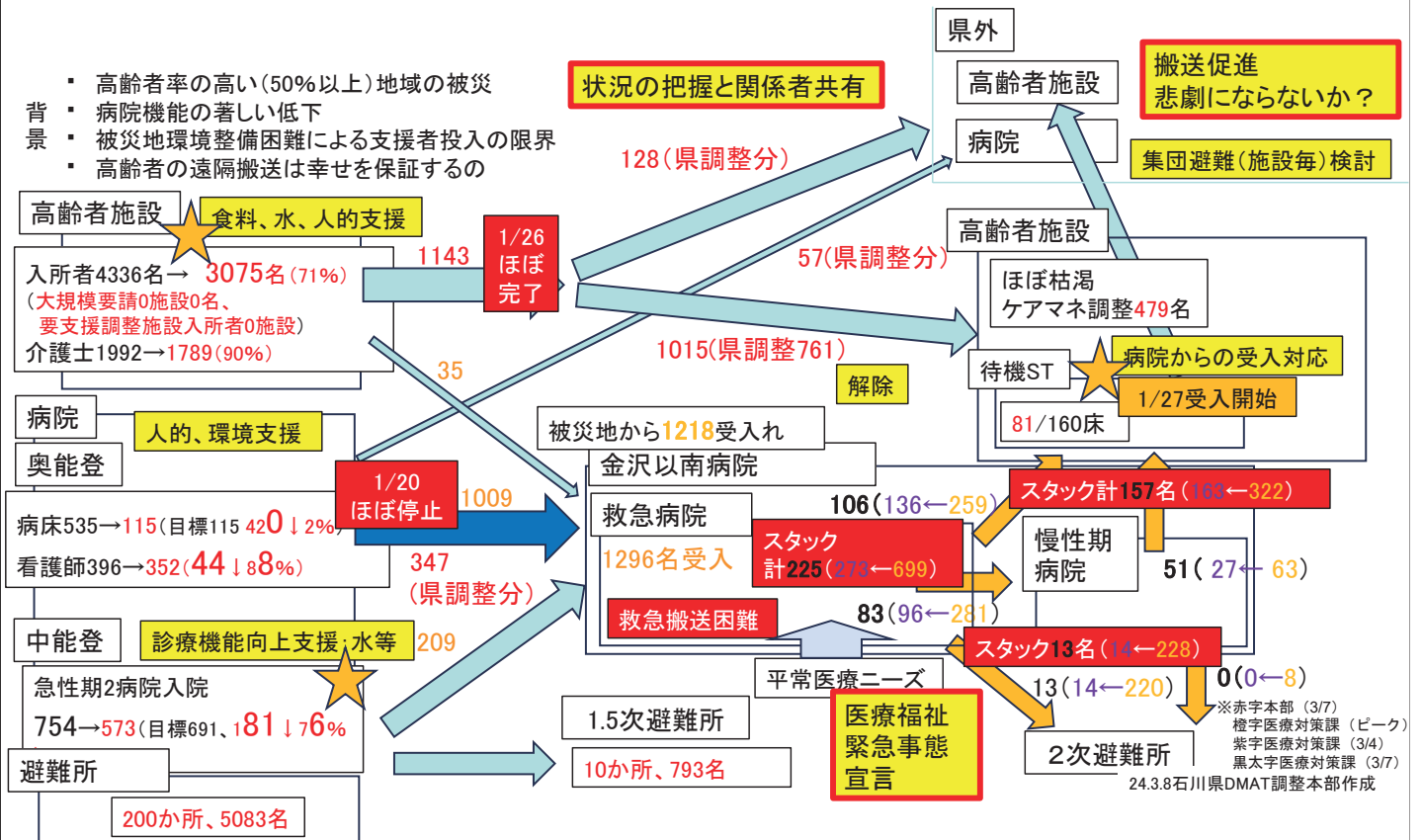


震災前の入居者数(予測) : 4439人

- ・ 発災時から現在までの累積搬送数 : 846人
- ・ 発災時から現在までの病院搬送数 : 64人
- ・ 発災時から現在までの施設死亡数 : 75人

能登地震医療福祉機関の現状と対策

- ・ 高齢者率の高い(50%以上)地域の被災
- ・ 病院機能の著しい低下
- ・ 被災地環境整備困難による支援者投入の限界
- ・ 高齢者の遠隔搬送は幸せを保障するの



※赤字本部 (3/7)
 橙字医療対策課 (ピーク)
 紫字医療対策課 (3/4)
 黒太字医療対策課 (3/7)
 24.3.8石川県DMAT調整本部作成

目的

病院・社会福祉施設・避難所の

I. 患者・入所者・住民の医療提供継続・医療アクセス確保

- 要緊急医療者の初期診療、搬送

1月7日完了

II. 最低限環境確保と緊急避難搬送

- 飲料水、食料、暖房環境確保と生活に耐ええない方の広域避難搬送

1月18日完了

III. 継続可能な保健医療福祉体制の確立

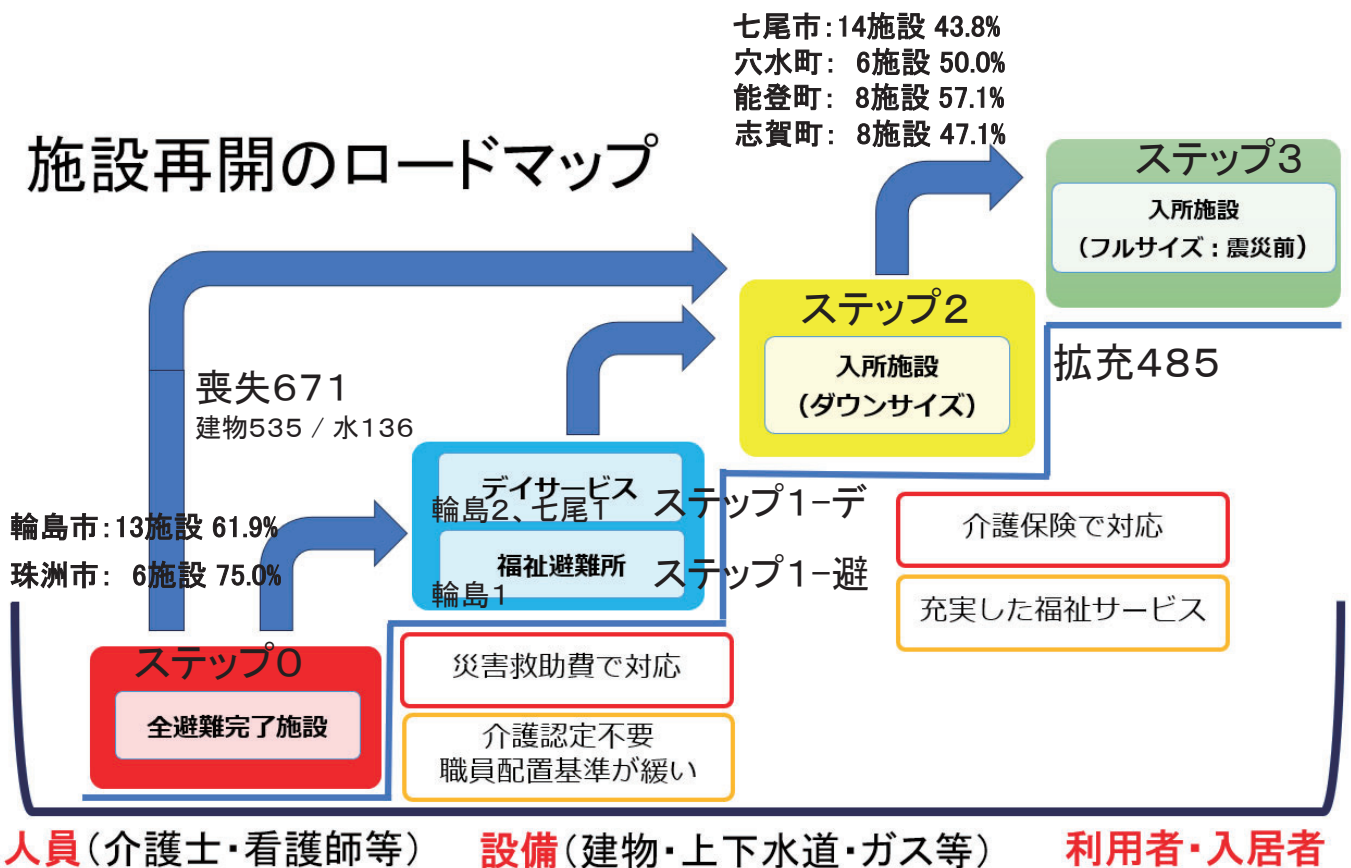
- 能登、石川中部・南部の病院・施設・診療所機能維持支援

IV. 地域の保健医療福祉体制の復旧

1月29日

⇒防ぎえる災害による死亡、**悲劇の低減**

施設再開のロードマップ



厚労省修正案	福祉避難所等 (福祉施設等が福祉避難所として開設された場合を含む)
使用料、飲食費、物品費等	災害救助費
介護サービス費	介護保険 (利用者自己負担減免対象)
人件費	①介護保険施設等や居宅における介護保険サービス等の提供に係る人件費:介護報酬 ②福祉避難所の運営や介護保険サービス費等の対象とならない方の支援に係る人件費:災害救助費
旅費	災害救助費

被災高齢者施設に対する復興支援について

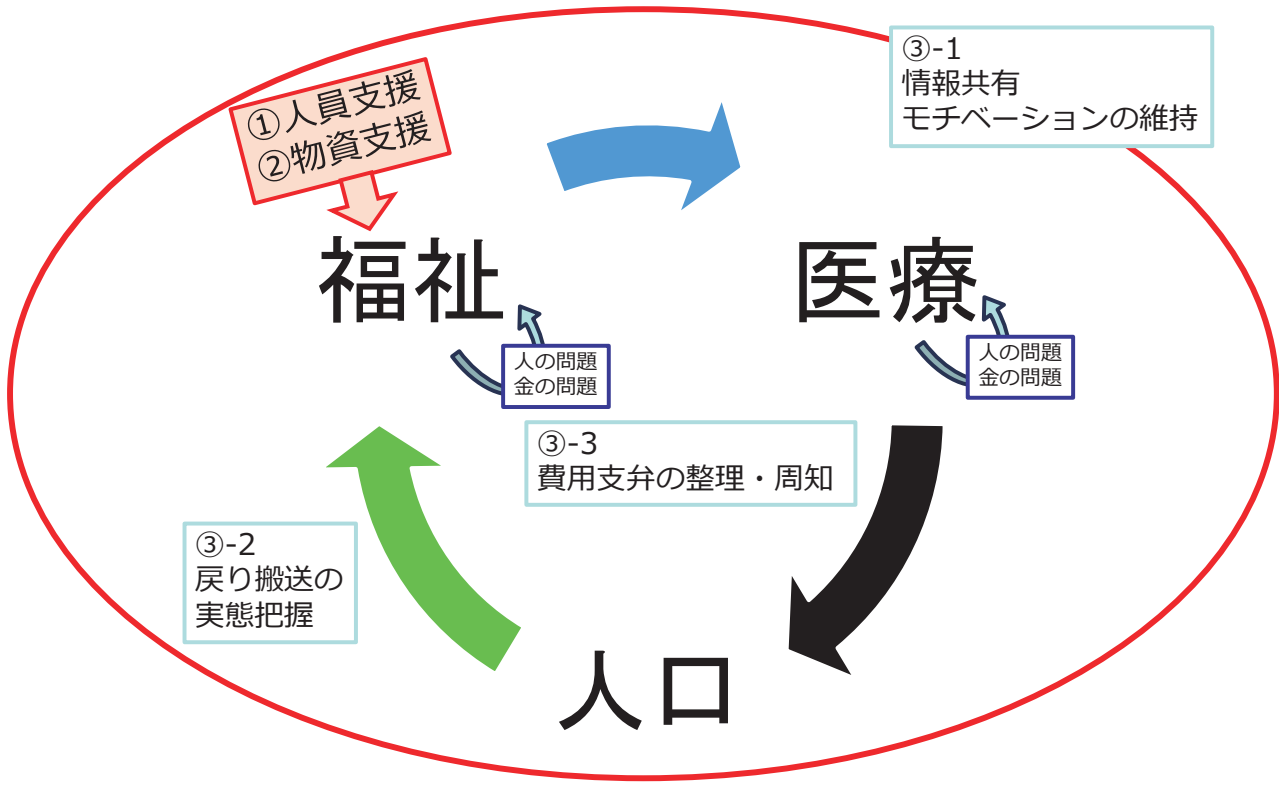
	実施主体(窓口)	対象	概要	助成内容	
職員の給与補償	雇用調整助成金	石川労働局(職業安定部職業対策課076-265-4428)	経済上の理由により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業主	雇用の維持を図るための休業、教育訓練、出向に要した休業手当、賃金等の一部を助成	(休業手当)上限 8,490円 (訓練費)上限1,200円 など (助成率)中小企業:4/5 大企業:2/3
	雇用調整助成金(出向の支援)	(公財)産業雇用安定センター(石川事務所076-261-6047) ※雇用調整助成金(出向)の申請相談は石川労働局	雇用の維持を目的とし、出向労働者の賃金の一部(全部を除く)を負担している出向元事業主	企業間の出向や移籍の相談受付・あっせんを実施	(助成額) 出向元事業主が負担した出向労働者の賃金額(出向前の通常賃金の概ね1/2を上限)に4/5(中小企業)、2/3(大企業)を乗じた額 ※上限:8,490円×支給対象期の日数×330/365
	福祉貸付事業(災害復旧資金)	福祉医療機構	令和6年能登半島地震により被災された社会福祉施設等の事業者	経営資金(賞与等の人件費など)を融資	(限度額)所要額の100% (貸付利率)当初3年:無利子 3年以降:基準金利同率 (償還期間)15年以内(据置3年以内)
施設建物の復旧支援	なりわい再建支援補助金 ※詳細未定	石川県(ワストップ・コールセンター 0120-330-955)	被災された中小・小規模事業者等	施設や設備の復旧に取り組む際に要する費用を助成	1事業者あたり、補助上限額15億円、補助率は最大3/4等 ※詳細未定
	災害復旧費補助金	石川県(長寿社会課 076-225-1416) (金沢市に所在する場合は金沢市)	令和6年能登半島地震により被災した高齢者施設(詳細はお問い合わせください)	原状復帰に要する工事費等の一部を助成	(補助率)3/4 (下限額)80万円以下の事業は対象外 ※補助率について、激甚災害として指定されたため、変更される可能性があります。 (過去の激甚災害の際には、5/6まで補助率が高上げされました。)
	福祉貸付事業(災害復旧資金)	福祉医療機構	令和6年能登半島地震により被災された社会福祉施設等の事業者	設置・整備資金(改修費用や仮設建物の建築費も対象)を融資	(限度額)所要額の100% (貸付利率)無利子 (償還期間)30年以内(据置3年以内)
運転資金	福祉貸付事業(災害復旧資金)	福祉医療機構	令和6年能登半島地震により被災された社会福祉施設等の事業者	経営資金(賞与等の人件費など)を融資	(限度額)所要額の100% (貸付利率)当初3年:無利子 3年以降:基準金利同率 (償還期間)15年以内(据置3年以内)

市町での保健医療福祉調整会議について

市町単位で

行政(市、県)、医療(病院、医師会、DMAT)、福祉(施設)の担当者が顔を合わせて今後について検討する会議を立ち上げることを検討

市町会議体	開催日	次回開催日	参加者
珠洲市	2月27日 (火・木)	2月29日 (火・木)	珠洲市、県長寿社会課、保健所、珠洲市総合病院、各施設職員、県調整本部(高齢者施設担当)、厚生労働省
能登町	2月22日	調整中	能登北部医師会長、能登町薬剤師会代表、能登町歯科医師会、宇出津総合病院院長、柳田温泉病院理事長・院長、宇出津総合病院社会福祉士、石川県薬剤師会能登北部支部長、能登町社会福祉協議会、能登北部保健所長、能登北部保健所、石川県長寿社会課、石川県支援保健師チーム、能登消防署長、能登町役場健康福祉課長、能登町役場健康福祉課補佐、能登町役場健康福祉課、JMAT、DHEAT、DMAT、DWAT、日本赤十字社
輪島市	2月7日	3月上旬	DHEAT(堀)・能登北部保健福祉センター(保健所)輪島市【本部長】医師会 歯科医師会 薬剤師会 DMAT 輪島病院 門前地区 町野地区 日赤 DPAT JMAT DPAT JRAT
穴水町	2月27日 (隔週火)	3月12日 (隔週火)	保健所長・石川県長寿社会課・県調整本部(高齢者施設担当)・介護事業者関係
七尾市	2月21日	調整中	石川県、埼玉県(川越市介護保険課)、キングス・ガーデン埼玉、七尾市、志賀町、各施設代表者(あやめ、アイリス、エレガントたつるはま、七尾更生園、寿老園、秀楽苑、鶴友苑)、県長寿社会課、県調整本部(高齢者施設担当)、福祉防災コミュニティ協会、能登中部活契

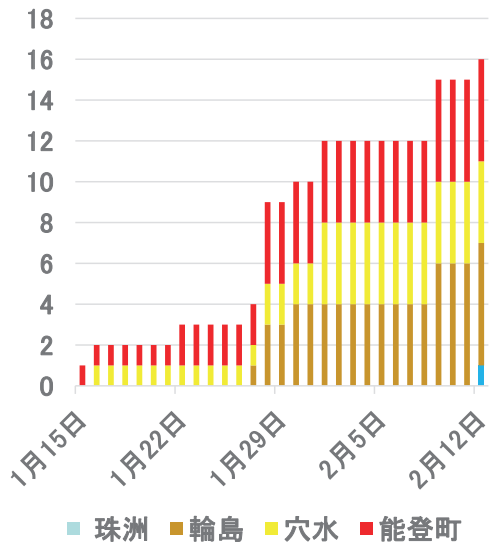


診療所復旧支援

診療再開への課題

名称 (計8施設中 4施設)	通常診療 (発熱などの新規患者受入)	電話診療	建物 (応急危険診断)	電気	電話	水	職員数	課題	参考
○	△ かかりつけ処方のみ ↓ 通常診療再開予定	○	緑	○	×	×	看護師3名、事務3名。看護師2名は二次避難のため遠隔。1名は避難所生活。看護師3名退職決定。	看護師不足	看護師不足→JMATサポートにて再開。02/14以降ジャパンハートと面談予定→follow 看護師1名の宿泊困難→北部活動中JMATで支援を行って行く開業状況について広報していただけてまわれない。
○	×	×	緑	不明		不明		看護師不足	看護師の問題、当面JMATサポート。2/14以降にジャパンハートと面談予定→要follow 02/13~ かかりつけ患者の処方のみ再開予定 02/19~ 9:00-13:00 月~金 診療開始可能
△	△ かかりつけ処方のみ 月~金 10:00~12:00	×	黄	○		○		MRI・CT修理不可	かかりつけ処方のみ。02/05~デイクア開始(デイクアスタッフは5人、利用者は2人) 02/09 3月に開院を予定。オンライン診療しない。デイクアは継続の意思あり。人員補充希望なし。(JMATより)
△	○通常診療 月・火・水・金 AM9:00~12:00 PM14:00~16:00 木 AM9:00~12:00	×	黄	○		×	看護師2名事務1名看護師1名は避難所生活であるが出勤	上下水道	本人が病氣、長寿園の嘱託医を小西先生に10月にお願いしたばかり。建屋に大きな損傷なし。周辺液状化あり。配管損傷ファスの配置に破損あり。使用は不可。脱衣、脱便器後、麻痺はない 採血検査の検査所(総合病院)の委託は、病院、医院間で詰めていただくように調整済み。 看護士手洗い器→珠洲市保健医療福祉課本部会議にて依頼予定 02/13 JMAT 介入中。

診療所開設数



DMAT・JMATで協同
看護師支援、物資支援等実施

2月20日時点で要支援調整施設0

本災害の本質

・ 甚大な被害のある地域の孤立により

- 要医療者(外傷、透析等)の医療アクセス困難
- 病院・社会福祉施設・避難所の環境(水・食料・暖房)改善遅延
- 支援者環境確保困難、支援の制限

大量資源・迅速投入はかえって有害

最低限の環境確保を目的に優先順位を付けた対応を要した

一つのリスク(感染症等)にとられると優先順位を間違える

・ 高齢化率の高い地域の被災により

- 防ぎえる死亡だけでなく悲劇の低減が課題
- 復興の目標設定の困難

命を長らえるためには避難が必要

遠距離避難は悲劇を招く

避難による地域医療福祉の崩壊
⇒復旧への障害

人口減少社会における災害
低減すべき悲劇とは
誰のための復旧・復興か